

序

埋蔵文化財調査センター長

五味 武臣

1999年刊行の創刊号、2000年刊行の2号に引き続き、センターの年度活動報告、センター職員を中心とした調査研究の成果を内容とした「金沢大学文化財学研究」3・4号を刊行します。

当センターは、金沢大学の角間地区への総合移転の過程で、1997年に学内共同利用施設として発足し、全学のご協力、ご支援、ご理解をいただきながら金沢大学角間キャンパス、宝町キャンパス、鶴間キャンパスなどにおいて調査研究を実施してきました。各キャンパスでの発掘によって、歴大な量の遺物・遺構（文化財）を得ましたが、未だ新たな発掘調査も残しています。今後、これら出土した文化財の復元・整理分類、実測図作成、写真撮影、原稿執筆など報告書作成と保存・活用が業務の中心となります。

本号には、センターが実施した発掘調査の結果を中心に、調査研究の成果を掲載しています。本紀要には、調査研究の終了した遺跡についての報告を、今後も掲載していく計画です。

本紀要が、金沢大学における文化財学研究を推進め、さらには地域に対する文化財関係の情報発信源となることを期待します。